

市道の除雪体制について

ご理解とご協力をお願いします

詳細

道路管理事務所
(字糸井402番地4)
☎73-5000

どんなときに除雪するの？

積雪10cm以上で交通障害になりそうなときや、風雪や地吹雪で吹きだまりができそうなときに除雪を行います。雪の深さが10cmを越えていてもすっかり踏み固まっている時や、春先などで気温が上がってすぐに解けそうなときは除雪は行いません。

除雪って雪をもって行くことでしょ？

「除雪」とは、主に雪を道路脇へかき分ける作業のことで、機械で除雪できる道路が対象となります。一方、道路の雪山を雪捨て場などへ運ぶ「排雪」は、除雪に比べ多額の費用を要するため、原則行っていませんが、雪山が高くなった交差点などについては、交通安全対策上、排雪を行っています。

どうして家の前に雪を置いていくの？

市全域に雪が降れば、一斉に除雪を行うことになります。その距離約1,015km、機械約150台で朝までに道路を使えるようにするには、雪をかき分けるだけで精一杯です。除雪後に残った家の前の雪の処理をお願いします。

通学路の歩道は除雪してくれないの？

歩道用の除雪車が、作業を行うのに必要な幅を考えると、除雪を行えるのは1.5m以上の歩道に限られており、通学路であっても幅のせまい歩道は除雪を行っていません。ただし、学校の周りについては1.5m未満でも人力により行っています。

つるつる道路なんかならない？

路面凍結によるスリップ事故や交通渋滞を防ぐために、カーブや、坂道など危険な場所には、塩化ナトリウムや塩化カルシウムなどにコンクリートや金属の腐食を抑える錆止めを混ぜた凍結防止剤を散布しています。また、滑り止め用の砂を詰めた袋が入っている「砂箱」を市内36カ所に設置しています。市民の皆さんも必要に応じて砂まきをお願いします。

除雪作業へのご理解とご協力をお願いします

路上に物を置かないで！

看板や車歩道段差解消板等の除雪作業の支障になるものは置かないでください。

間口の処理にご協力をお願いします！

除雪後に玄関前などの出入り口に雪が残りますので、間口処理のご協力をお願いします。

路上駐車はやめましょう！

路上駐車は除雪車が入れないだけでなく、緊急車両などの通行の妨げにもなるのでやめましょう。

道路への雪出しはやめましょう！

宅地内の雪は道路に出さず、宅地内で処理しましょう。路面がデコボコになるなど交通の支障になります。

冬期間通行止め・除雪のお知らせ

詳細 道路維持課 ☎32-6491
道路管理事務所 ☎73-5000

●通行止め路線

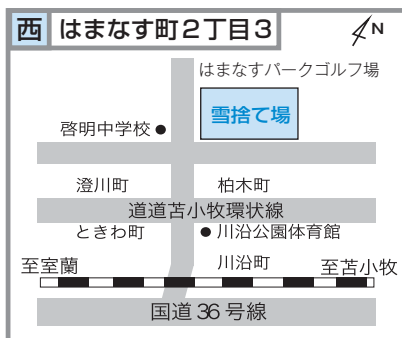
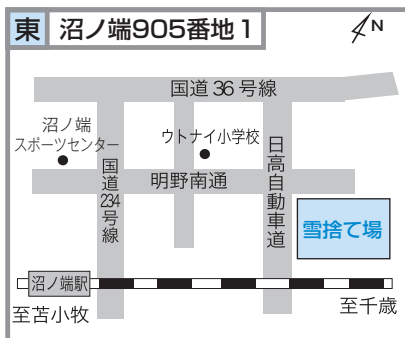
路線名	区間	期間
市道樽前山観光道線	全線	11月18日(月)～平成26年5月30日(金)
市道モーターラップ1号線	全線	12月2日(月)～平成26年5月30日(金) ※平成26年1月24日(金)～2月16日(日)は通行可能
植苗北1号道線	福井宅前から桂ゴルフ倶楽部まで	12月2日(月)～平成26年5月1日(木) ※大型車両は通年通行止め

※降雪により通行止めが早まる場合があります

●除雪をしない路線

路線名	除雪をしない区間
小糸魚道線(宮の森町先)	宮の森町2丁目北の道南バス回転場所以北(終点まで)
小糸魚川道線(はまなす町先)	字糸井381番地ベットの霊園以北(終点まで)
有珠の沢道線	道央自動車道以北(終点まで)
豊川糸井10号線(清掃センター先)	道央自動車道以北(終点まで) ※通年通行止め
夕振沢1号道線(S TV送信所先)	終点まで
新夕振沢2号道線(ニドムゴルフ場先)	終点まで
植苗北1号道線	美沢1号線のT字から突き当たりまで

◆雪捨て場案内図◆



11月17日に、約千人の市民とともに、道内初となる男女平等参画都市宣言をいたしました。地域・家庭・職場・教育など、みなさんが生活するあらゆる場面での取り組みを示させていただきました。

男女が互いに認め合い、助け合うことは、いきいきと心豊かに暮らすための第一歩となります。一人ひとりが自分らしく生きられるよう、性別だけでなく、世代や人種、障がいなどの垣根を超えた、誰もが参画しやすい仕組みづくり、それが私の課題でありました。

市では、意欲がありながらも、障がいのために就労の機会がない方へ、働く場を用意する「働く幸せチャレンジ事業」を行っています。市職員と働く方が、お互いに創意工夫する中で、能力に合わせて懸命に働く姿や、給料を貰ったときの笑顔から、この挑戦が間違いでなかったと実感しております。

この取り組みのように、市民誰もが平等に参画できる機会を増やすことが、それぞれの個性を活かせるまちづくりにつながります。お互いが尊重しあい、笑顔あふれるまち、とまこまいの実現に向け、力強く歩んでまいります。

実践躬行

苦小牧市長 岩倉博文

ともに踏み出す
未来への一歩

